

## 在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和7年7月29日（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

① 9/6「認知症市民研修会」の案内(新見市高齢者支援課)

② 7/18「令和7年度第2回多職種連携・人材育成研修会」の報告(まんさく)

4 協議事項

1) 情報連携ツールについて

7/9「MCSとLINEWORKSの説明会」の報告

2) 認知症ケアパスについて

次回開催日

令和7年 月 日（ ）

# 「認知症市民研修会」

**入場無料**  
**事前申込必要**

8/29(金)までに  
お申し込みください

認知症になってからも自分らしく  
～本人の声がひらく新しい認知症観の時代へ～

日時：令和7年**9月6日(土)** 10:30～12:00  
(10:00開場)

場所：まなび広場にいみ小ホール (新見市新見123-2)

定員：先着150名

申込み：新見市地域包括支援センター

電話：(0867) 72-6209

メール：[hokatsu@city.niimi.lg.jp](mailto:hokatsu@city.niimi.lg.jp)



お申込みは  
こちら

【講師】一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ相談役理事  
**藤田 和子氏**

【パートナー】鳥取市中央包括支援センター・認知症地域支援推進員

金谷 佳寿子氏

看護師として15年勤務、認知症の義母を9年間介護した経験を持ち、2007年6月、若年性アルツハイマー病と診断された後、地元の鳥取市で認知症の本人としての発信を始め、現在、一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループの相談役理事を務めている。

地元、鳥取市で、「認知症になってからも自分らしい生き方を考えるサロン」や本人同士がともに語り合う「本人ミーティング」、「おれんじドアとっとり」のピアサポーターとして活動されています。

令和2年 認知症本人大使「希望大使」厚生労働省

令和3年 鳥取市認知症本人大使「希望大使」鳥取市

令和6年 ヘルシーソサエティ賞受賞。

著書「認知症になってからでもだいじょうぶ!そんな社会を  
創っていきよう」(徳間書店)

著書「認知症になってからも自分らしく!」  
(メディアケアプラス)



藤田和子さん

認知症本人大使「希望大使」



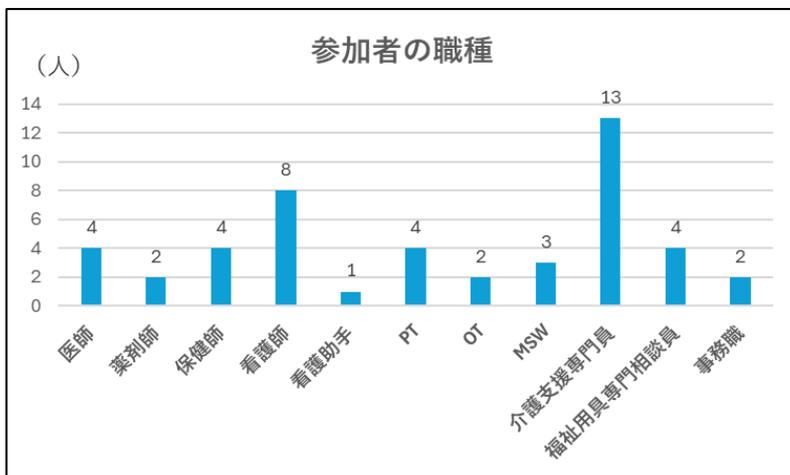
主催：新見市地域包括支援センター

共催：高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議新見部会、オレンジの会

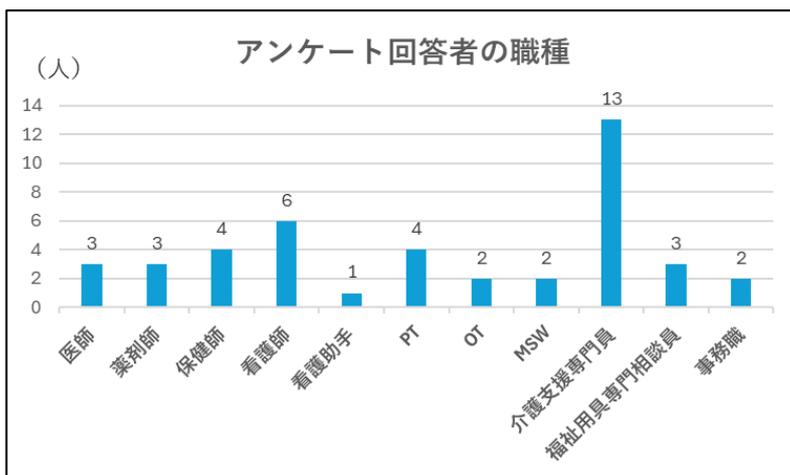
# 令和7年度第2回多職種連携・人材育成研修会 研修後アンケート集計結果

参加者：47名

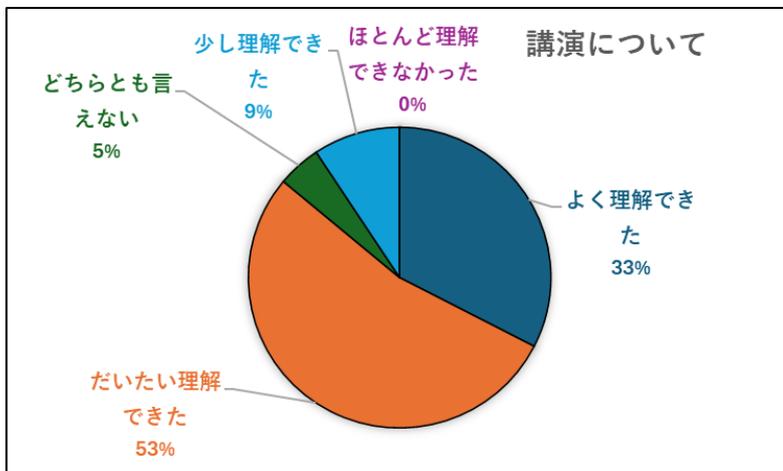
## 【参加者の職種】



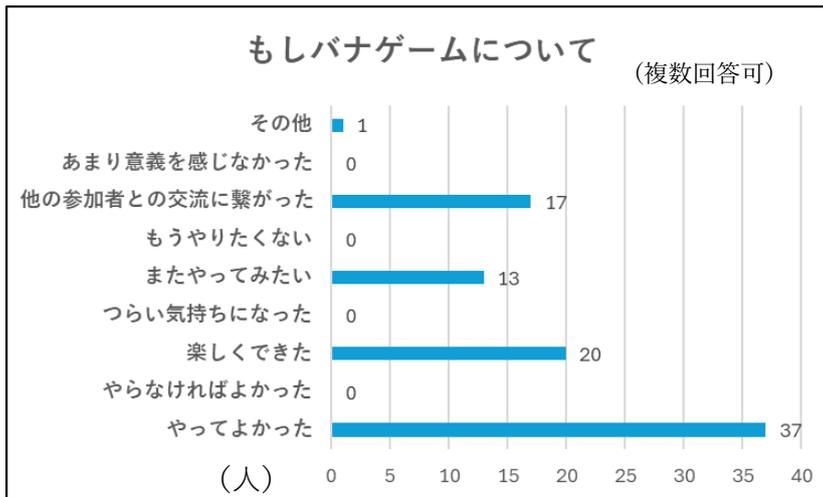
## 1 アンケート回答者の職種 (43名)



## 2 講演について



### 3 もしバナゲームについて

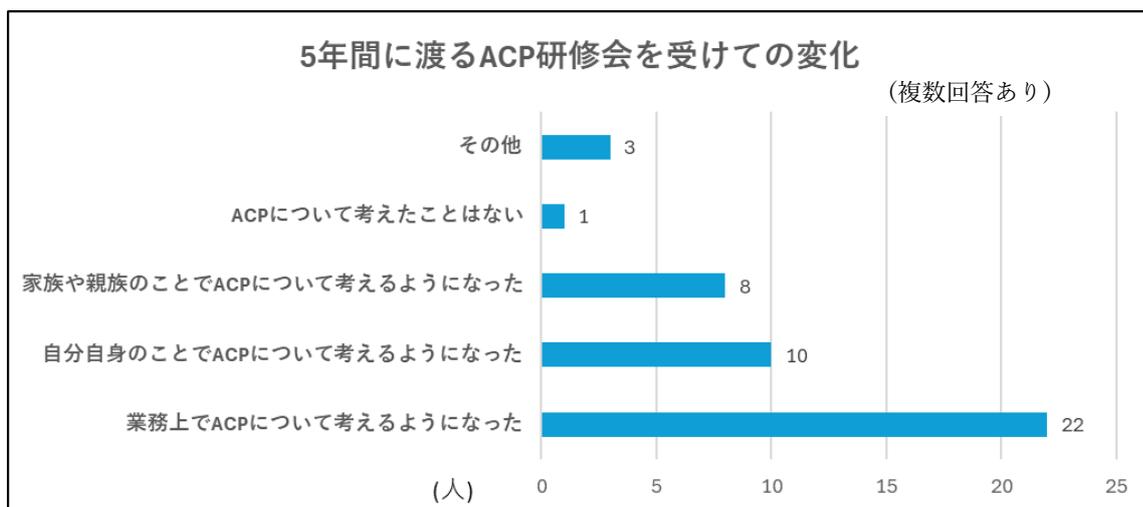


### 4 本日の研修会の感想

- ・講演はわかりやすかったです。もっと聞きたいです。もしバナゲームで自分の価値観を再確認しました。
- ・カードを自分で買っているが、ハードルが高い、苦しくなると感じてしまっていたのですが、やって、何とかなってよかったです。
- ・価値観の違いを認識しました。
- ・症状によって関わり方が違うと思います。ゆっくりと話し合えない状態、現場で記録、書類を取って終わり。ゆっくり話し合える環境はどこだろう？を知りたいです。病気になっていなくても日頃から話し合う必要があることを知りました。講演で、今の現場の状態、状況というものが知りたかったです。
- ・もしバナゲームはアイスブレイクにもなり、良い。
- ・初めてもしバナゲームをしました。自分の考えが見えて面白かったのですが、他があれば変わることが分かりました。地域の方とのコミュニケーションにも使える内容でとても勉強になりました。
- ・初めて体験しましたが自分の考えを伝えることが抵抗なくストレスなくできました。
- ・生活期など各期についてももう少し詳しく聞きたかった。
- ・自分の気持ちを整理することができた。対話と会話の違いが分かった。対話は難しい。
- ・とてもわかりやすく、理解することはできたが、実際に取り組んでいくことはなかなか難しいと思いました。もしバナゲームはゲーム感覚で思いを聞くことができ、良いものだと思います。
- ・ゲームにすることで言葉にすることができました。
- ・自分の考え以外に他の方々の気持ちや考えを聴くことができとても良かったと思います。
- ・カードを選ぶために自分の考えを改めて実感することができました。また他の方の考えに共感したり新しい発見があったので大変勉強になりました。本日はありがとうございました。
- ・自身と他者の考え方の違いを感じ、理解しようとするのが大切と感じました。
- ・患者と話をする際の参考になった。人の話し方や聞き方を見直す機会となった。
- ・自分自身が患者さんの意志をコントロールしてしまったんじゃないかなど、今まで気にもしていなかったことについて考えることができとても良い経験ができました。
- ・他者の考えや自分の価値観がよくわかった。
- ・自分の価値観や相手の価値観を知れました。

- ・患者の意思決定支援やACPの取り組みがまだまだできていないと思った。本日の研修を生かしたいと思う。
- ・ゲームを挟みながら講義を受けられて集中が途切れなかった。内容がとても濃く、何度も聞きたいと思った。
- ・いろいろな人の価値観の違いを知ることが面白く、新鮮だった。
- ・利用者の思い、なぜその選択をしたのか聞くことが大切だということに改めて気づかされとても良い講演でした。
- ・自身のACPを考える良い機会になりました。グループの他の人の考えも良く理解できました。
- ・自分の価値観、他の人との価値観の違いなどを認識できて良かったです。
- ・ACPの意味が良くわかりました。
- ・日頃は死期が近づけばお金などの整理をしなくてはと思っていたが、ゲームを通して「不安ない」「痛くない」などシンプルなものを選んだ自分にビックリしました。
- ・人生の最期について考える機会になった。色んな人の想いが聞いてよかった。
- ・とてもわかりやすくよかった。もしバナゲームをいろいろな職種でできて良かった。
- ・皆さんの人生観が聞いて勉強になりました。
- ・考える時間、立ち止まる時間を持てました。いろんな価値観を知ることができました。
- ・日常業務に役立てたい。
- ・人の意見により自分の気持ちが変わってしまう。良い経験となりました。
- ・対話から会話ができるのが面白く感じました。
- ・もう少し時間をゆっくり取ってやってみたいと思った。
- ・初めて参加しましたが医療と介護の両面の考え方を知ることができました。大変勉強になりました。もっと看護助手さんが参加して欲しかったです。
- ・もしバナゲームをすることで性格や考え方など意外な面が知れて良かった。

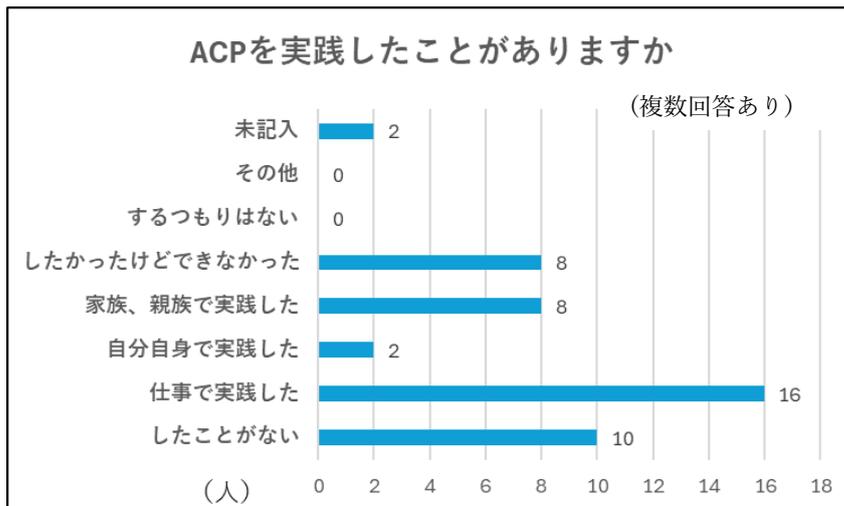
5 令和3年度から5年間に渡ってACPについての研修会を開催してきましたが、ご自身にとって何か変化があったと思いますか。



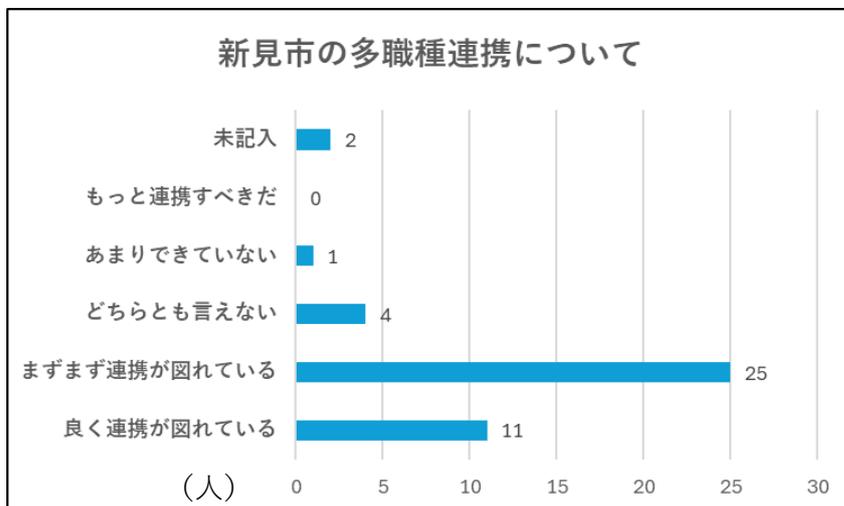
【その他を選択した人】

- ・今まで触れられたいくない部分でしたが、今回の研修で少し考えるきっかけになりました。
- ・初参加でACPについて初めて知った。

## 6 ACP を実践したことはありますか



## 7 新見市の多職種連携について



### 【よく連携が図れていると答えた理由】

- ・院内での情報共有や転院時の連携はよく取れていると感じています。
- ・顔の見える関係づくりができています。研修会へたくさん出席しており、みなさん意識が高い。
- ・研修会等への参加率が高い。
- ・他の職場の人たちと話す機会がたくさんあるから。
- ・他の市町村から連携が図れているとほめられるから。
- ・多職種が意見を述べる場があるから。
- ・研修会のグループワークなどで顔を覚えていて、次に仕事で会った時に話しやすかった。
- ・人材育成研修会の内容も良く、みなさんまとまって研修できていると思います。
- ・新見地域は他の市町村からよく連携が取れていると言われることがあるため。
- ・日中や夜に開催される研修会・会議に積極的に参加する意識の高い人が多いと思う。

### 【まずまず連携が図れていると答えた理由】

- ・顔が見える関係ができています。
- ・今日の様な会がある

- ・今日の様な研修会を持続的に行っていることが連携に役だっていると思われる。
- ・連携しやすいと思うので。
- ・顔が見える関係、お互いが分かり合える関係だと思う。お互い多少の無理をお願いできると思う。
- ・顔が見える。わかる。人が良く、話しやすい。
- ・まだ連携がとれていない部分があると思うが、他の地域より進んでいると思う。
- ・ケアマネや病院間とは共有書などで細かく連携が取れている。市役所との連携がイマイチ。情報が口頭しかない。
- ・顔見知りの関係ができていて話しやすい。
- ・連携提供書等を使用し、タイムリーに共有ができていると思う。
- ・顔を合わせたり、連絡する機会がある。
- ・どの職種の方もやさしく話して頂けるので。
- ・小さい地域、少ない人数なので、顔が見える関係ができています。
- ・顔が見える関係。

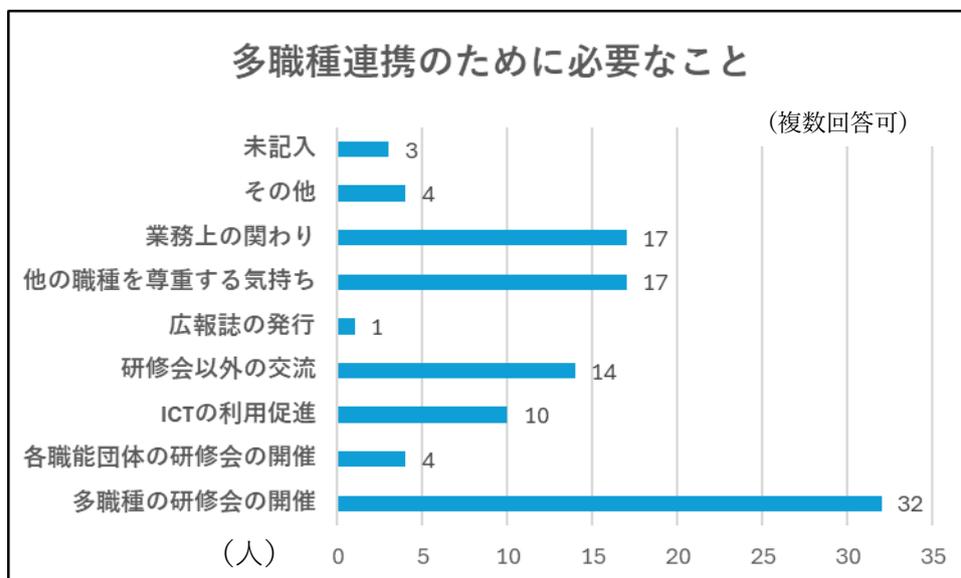
【どちらとも言えないと答えた理由】

- ・自分がこの職種になって経験が浅いため。
- ・自分の仕事上の付き合いがある人とのみの連携で、それ以外の人とはつながることはないから。

【あまりできていないと答えた理由】

- ・未記入

8 今後も多職種の連携を図っていくために必要なこと



【その他必要だと思うこと】

- ・レクリエーションなどがあっても良い。
- ・各医療機関との交流する機会(話し合える)があればいいと思います。
- ・新見市の現状と課題、対応策について考える研修

## 情報連携ツール説明会 アンケート集計結果

日時：令和7年7月9日（水）15:00～16:30

参加者：37名

回答者：23名

回答率：62%

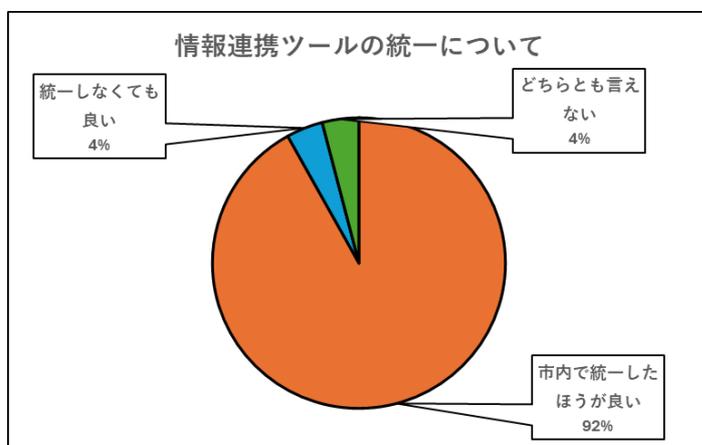
質問数：7個

Q1.説明会の内容はいかがでしたか。いずれか1つにチェックをしてください。

- ・LINEWORKSの内容もMCSの内容も良く理解できた・・・23/23（100%）
- ・LINEWORKSの内容のみ理解できた・・・0/23（0%）
- ・MCSの内容のみ理解できた・・・0/23（0%）
- ・LINEWORKSの内容もMCSの内容も分かりにくかった・・・0/23（0%）

Q2.新見市内での情報連携ツールの統一についてどのようにお考えですか。いずれか1つにチェックをしてください。

- ・市内で統一したほうがよい・・・21/23（91%）
- ・統一しなくてもよい・・・1/23（4%）
- ・どちらとも言えない・・・1/23（4%）



Q3.Q2で回答した理由をお書きください。

・市内のどこの病院、施設、事業所で誰が見ても分かりやすくなると思うから。利用者立場から考えた場合でも、統一した情報が市内の関係者に速やかに伝わり、対応してもらえる事はメリットがあると思う。

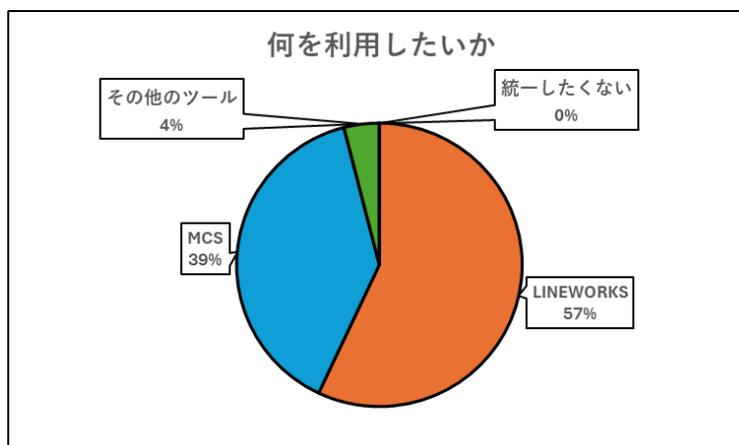
- ・市内で統一したほうが情報共有がしやすくなると思います。
- ・統一した方がわかりやすい
- ・ペーパーレスや業務の効率化に繋がるし、支援者間で情報共有しやすい。
- ・関係職種が多い方が情報連携ツールとして有効と思えるため。
- ・市内すべての関係機関で同じツールを使用することによって、機関別にツールを変えなく

ていいし、グループに入れるというメリットが高いと思うから。

- ・経費面や活用目的によって異なると思いますが、統一していたほうが利便性が良いことと、情報漏れがなくなると思いました。
- ・ID やパスワードの管理が多くなると事務手間になるため、1 ツールに絞って統一してほしい。
- ・情報共有が複雑にならず、利用しやすいから。
- ・連携が図りやすくなると思います。
- ・何個も扱えないので統一してほしい。
- ・バラバラでは恋率が悪い。
- ・新見市は情報共有書も共通のものを使用させてもらっていてとてもわかりやすいので、情報連携ツールも統一して頂いた方がわかりやすく有難いです。
- ・事業所によってバラバラでない方がよいと思う。
- ・統一していたほうが、共有しやすいと思います。
- ・それぞれの利欠点があるので…
- ・統一しないと意味が薄れる。2つのシステムを地域内で動かすのは難しい。
- ・皆の理解度が上がるから。
- ・統一した方が使用率が上がると思う。
- ・市内事業所で統一した方が連携が図りやすい。それぞれの事業所で対応を変えなければならないのであれば今と変わらないと思う。
- ・統一しないと連携とりにくい

Q4.もし、新見市内で情報連携ツールを統一するなら、何を利用したいですか

- ・LINEWORKS・・・13/23 (57%)
- ・MCS・・・9/23 (39%)
- ・その他のツール・・・1/23 (4%)
- ・統一したくない・・・0/23 (0%)



Q5.Q4でその他ツールまたは統一したくないと回答した理由をお書きください

- ・一応、LINE にしましたが市内の医療、福祉、行政関係者が統一して利用できるものであれ

ば、LINEWORKS でも MCS でもどちらでもいいです。

- ・それぞれのツールで一長一短あるため決められない。

Q6.もっと詳しくお知りになりたいことがあればお書きください

・今回の説明会では良い点ばかりが説明されたので、出来れば気になる点や課題などのお話もして頂きたかったです。

- ・ラインワークスの費用がどの段階からどのくらい必要になるのか知りたい。

・厚生労働省ガイドライン準拠しており、岡山市が進めているので岡山市内の病院も使っていたら連携がしやすいと思うが、大きい病院もこうしたツールを使用しているのかを聞きたい。

Q7.もし統一した情報連携ツールを導入する場合、希望されることがありましたらご記入ください。

・市内でなるべく多くの病院、薬局、施設や事業所が利用しないと効果の実感が得られないと思います。できれば、行政レベルで導入を進めて頂きたいです。

- ・行政の協力を得て、事業所負担は極力抑えたうえで、活用していきたい。

- ・まずはわかりやすくしていただきたい

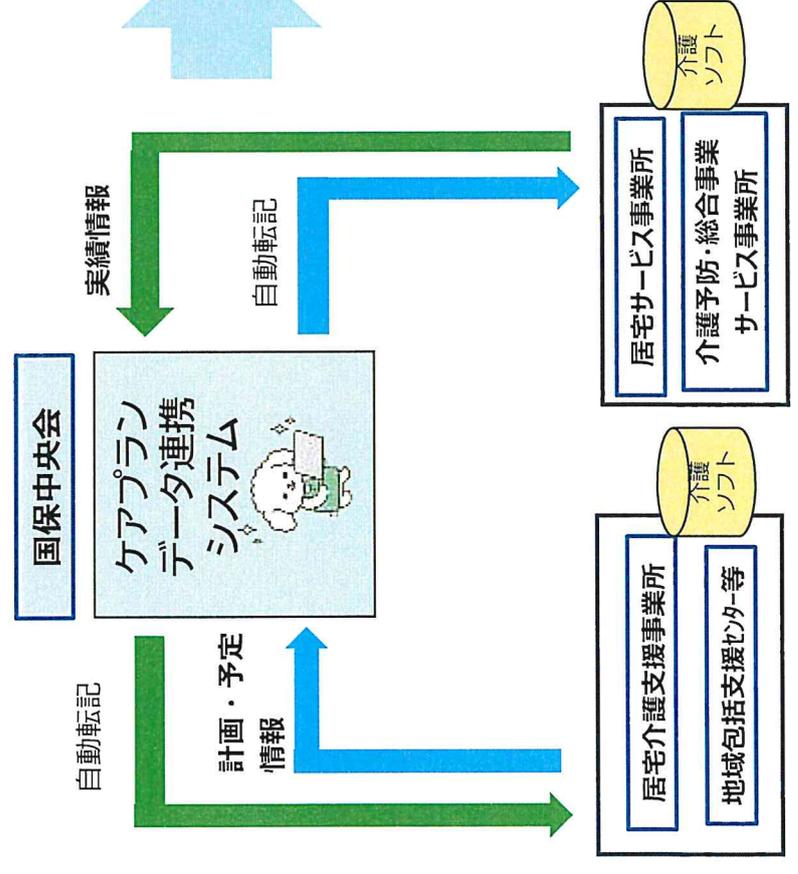
- ・動画の再生と URL の貼り付けできれば良い

- ・費用対効果は気にしてほしい。

# 介護情報基盤とケアプランデータ連携機能の統合（イメージ）

○ 介護情報基盤とケアプランデータ連携機能について、統合して一体的に運用することで、①事業者における利便性が向上すること、②ランニングコストの軽減が見込まれること、③事業者等に向けた普及促進が図られることから、介護情報基盤とケアプランデータ連携機能を統合することとしてはどうか。

## 既存のケアプランデータ連携システム



## 介護情報基盤とケアプランデータ連携機能を統合する場合

